



第10回ボランティア標語コンクール 会長賞 小学生の部
 だいじょうぶ 声をかけよう やさしくね



社協だより

あたたかい笑顔を地域へ



野子町へき地保育所 入所式

(関連記事8ページ)

もくじ

5月は赤十字運動月間です	P 2	わがまちニュース	P 6
平成27年度平戸市社協事業計画及び予算	P 4	へき地保育 卒園式・入園式	P 8
「地域福祉活動助成事業および寄贈事業」前期 受付のご案内、赤い羽根共同募金配分金事業	P 5	情報掲示板	P 9
		ふくしの輪・善意のともじび	P10

この広報誌は、共同募金会の配分を受けて作成したものです。



5月は「赤十字運動月間」です



日本赤十字社は、5月1日から31日にかけて「赤十字社員増強運動」を展開いたします。

日本赤十字社は国際活動・災害救護・医療事業・血液事業・講習会の普及事業・社会福祉事業などの活動を幅広く行っています。

日本赤十字社の社資は、個人・法人を問わず赤十字の人道的な活動にご賛同いただいた方々に、毎年500円以上のご協力をいただくもので、日本赤十字社の活動は、こうした地域の皆様の社資並びに寄付により支えられています。

ぜひ日本赤十字社の活動にご理解をいただき、一人でも多くの方々にご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

皆様からお寄せいただいた資金は身近な活動に役立てられています。

平戸市では救急法の講習会や、火災などで被災された方々への救援物資の支援、災害救援車の配備など有効活用されています。



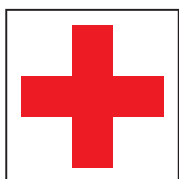
子ども救急法の様子



災害救援車の配備



救援物資 日用品、毛布等



赤十字マーク

赤十字マークの意味と約束事

赤十字マークは、戦争や紛争などで傷ついた人びとと、その人たちを救護する軍の衛生部隊や赤十字の救護員・施設等を保護するためのマークです。

紛争地域等で「赤十字マーク」を掲げている病院や救護員などには、絶対に攻撃を加えてはならないと国際法や国内法で厳格に定められています。つまり、赤十字マークは、いざという時にわれわれ国民一人ひとりを守るマークなのです。

赤十字へ ご協力いただいた方への表彰

日本赤十字社の表彰

区 分	基 準 額	納入方法
特別社員	20,000円以上	一時 または 累 計
支部長表彰状	100,000円以上	
銀色有功章	200,000円以上	
金色有功章	500,000円以上	
感謝状	金色有功章 受賞後 500,000円毎	

日本赤十字社の表彰(表彰の一例)



地区赤十字講習会のご案内

講師料無料

地区赤十字講習会とは、地域の公民館などで救急法などの講習(実技)を受講できます。

「AEDの取り扱い方」や「介護技術の講習」など知識と技術を学ぶことができます。内容は下記の中からお選びください。



	1. 救 急 法	2. 介護技術講習	3. 災害時生活支援
講習の種類	①救急法について ②心肺蘇生法・AEDの取り扱い方 ③傷と手当(止血法、包帯法など) ④骨折・脱臼・捻挫等(固定法 や搬送など)	①高齢者に起こりやすい病気や事故の予防と手当 ②感染予防、車いす・杖を使用している人への支援 ③介護技術(認知症・床ずれ・足浴・衣服の着脱など)	①災害について ②災害が高齢者に及ぼす影響 ③知って役立つ技術(移動、起き上がり方、清潔) ※自主防災組織の研修などに最適です。
時 間	1時間～2時間程度(ご希望の時間に調整することができます)		
場 所	地区の公民館など(会場使用料は自己負担願います)		
参 加 費	無料(資料等が必要な場合は別途料金がかかります)		
申し込み団体	行政区(地区)または団体単位でお申込みください。 この事業は、地域福祉活動の推進が目的である為、営利活動や暴力団活動および宗教活動等、地域福祉の推進が見込めないお申込みについては、お断りする場合があります。 実施日の1か月前までにお申込みください。 日程の都合等により、申し込みを受け付けられない場合があります。		
問い合わせ先	平戸市社会福祉協議会(お近くの本所・支所までお問い合わせください) 本 所 ☎0950-22-2180 生月支所 ☎0950-53-2615 田平支所 ☎0950-57-2223 大島支所 ☎0950-55-2100 またはホームページ(http://www.sha-kyo.net/)をご覧ください。		

昨年度も各地区において講習会を実施しております。皆さま、お気軽にご連絡ください。

事業計画 及び 予算

平成27年度資金収支予算

収 入		予算額
区 分		
会 費 収 入		4,057,000
寄 付 金 収 入		4,000,000
経 常 経 費 補 助 金 収 入		67,130,000
受 託 金 収 入		106,007,000
貸 付 事 業 等 収 入		1,000,000
事 業 収 入		12,582,000
負 担 金 収 入		7,804,000
介 護 保 険 事 業 収 入		297,643,000
障 害 者 福 祉 サ ー ビ ス 等 事 業 収 入		30,513,000
そ の 他 の 事 業 収 入		800,000
受 取 利 息 配 当 金 収 入		1,318,000
そ の 他 の 収 入		1,194,000
基 金 積 立 預 金 取 崩 収 入		23,360,000
積 立 資 産 取 崩 収 入		2,976,000
サ ー ビ ス 区 分 間 繰 入 金 収 入		53,297,000
そ の 他 の 活 動 に よ る 収 入		581,000

■ 収入合計 614,262,000円

支 出		予算額
区 分		
人 件 費 支 出		395,891,000
事 業 費 支 出		54,427,000
事 務 費 支 出		70,215,000
貸 付 事 業 等 支 出		900,000
共 同 募 金 配 分 金 事 業 費		8,434,000
助 成 金 支 出		5,065,000
負 担 金 支 出		410,000
固 定 資 産 取 得 支 出		6,665,000
基 金 積 立 資 産 支 出		6,305,000
積 立 資 産 支 出		5,286,000
サ ー ビ ス 区 分 間 繰 入 金 支 出		53,297,000
そ の 他 の 活 動 に よ る 支 出		3,075,000
予 備 費		4,292,000

■ 支出合計 614,262,000円

▼ **基本方針**

平戸市社会福祉協議会「事業計画」並びに「収支予算」の主な内容を紹介いたします。今年度も地域福祉の推進に邁進してまいります。

住民相互の支え合う地域づくりを目指し、ボランティア活動の推進をはじめ、福祉教育、相談機能の充実、低所得者世帯や判断能力不十分な方々への支援等関係機関との連携を密にし、ニーズに即した的確なサービスの充実をめざしてまいります。また、介護予防等元気な高齢者のまちづくりをめざし、平戸市ふれあ

1. **重点目標**

い・いきいきサロン連絡会と連携し、研修体制の充実強化等、ふれあい・いきいきサロンの推進を行い、地域の絆を育みつつ、地域のまちづくりに寄与してまいります。

サービスの充実には、本会職員の人材育成を図る必要があります。利用者の顧客満足度(CS)の向上を目指します。更には、将来の福祉分野を担う人材の育成を連携協定校と相互に連携し、中・長期視点から人材の育成を図ってまいります。

2. **主な行事予定**

5月 日赤社資募集・福祉基金(助成事業・寄贈事業)募集・地区赤十字講習会

6. 関係機関・団体等との連携による地域福祉事業の推進

7. 活動、ふれあい・いきいきサロンの充実強化等)

8. 法令遵守(コンプライアンス)による適正な事業運営

9. 人材の育成(連携協定校との連携)

10. 社会貢献活動の実施

11. 介護保険制度・障害者自立支援事業の充実

6月～11月 福祉施設職員研修会

7月 会員増強月間

8月 社協合併10周年記念式典、サマーボランティア2015

8月～12月 介護職員初任者研修会

10月～12月 赤い羽根共同募金運動

10月 平戸市福祉健康まつり、福祉基金(助成事業・寄贈事業)募集

12月 歳末助け合い運動

3月 平戸きらっとまつり

詳細は、事業計画並びに収支予算は平戸市社会福祉協議会ホームページにて公開いたしております。
(<http://www.sha-kyo.net/>)

住民一人ひとりが主役のまちづくりをめざして！ 「地域福祉活動助成事業および寄贈事業」 前期受付のご案内

平戸市社会福祉協議会では、住民の皆様による「福祉のまちづくり」の支援に下記のとおり助成および寄贈事業の募集を行います。



募集受付期間：平成27年5月1日から5月末日まで

地域福祉活動助成事業

事業内容

団体に助成金を交付することにより、さらなる地域福祉活動の推進を図る

対象団体

平戸市内で活動し、次の事業を行う団体

- ① ボランティア活動・福祉教育の推進を図る事業
- ② 高齢者・障がい(児)者・児童等福祉の増進を図る事業
- ③ その他特に必要と認める事業

対象事業

上記の事業に関すること
※ただし、建設事業等(ハード事業)は対象外

助成金額

対象経費の90%以内で、1事業あたり30万円を限度

地域福祉活動寄贈事業

事業内容

物品を寄贈することにより、さらなる地域福祉活動の推進を図る

対象団体

平戸市内で活動する次の団体(※5人以上で構成され、営利を目的としない団体)

- ① 自治会 ② 福祉団体
- ③ 高齢者・障がい(児)者・児童福祉の増進が期待される団体
- ④ ボランティア団体
- ⑤ その他、特に必要と認める団体

寄贈物品

寄贈する物品については次のとおり
※1件につき100,000円以内

- ① 福祉の推進に必要と認められる物品
(例：ベンチ、車イス、児童遊具)
- ② その他福祉の推進に必要と認められる物品

応募方法

所定の申請書に必要書類を添えて、平戸市社会福祉協議会までご提出ください。(5月末日締切)
なお、申請書およびお問い合わせについては、社会福祉協議会本所、各支所までお願いいたします。また、申請書等は社協ホームページ <http://www.sha-kyo.net/> よりダウンロードできます。



お詫びと訂正

3月15日発行の「ひらど社協だより 平成26年度社協特別会員紹介」において、有限会社 松永産業 様のご紹介を掲載いたしました。住所を誤って掲載いたしました。心よりお詫び申し上げます。

平戸市木引田町833-3 (誤) → 平戸市木引町833-3 (正)



♪ サックスの音色にうっとり♪ ～平戸きらっとまつり開催～

平戸市ボランティア協議会と平戸市社会福祉協議会の主催による「平戸きらっとまつり」を平成27年3月8日(日)に平戸文化センターで開催しました。

「平戸市ボランティアシンボルマーク」並びに、小・中学生による「ボランティア標語コンクール」の表彰式の後、福岡県にお住まいの視覚障がい者 宇木 稔氏によるサックス演奏会が行われました。宇木氏の演奏会では「なごりゆき」や「夜霧よ今夜もありがとう」「レット・イット・ゴー」など幅広いジャンルの演奏に、参加者はうっとり聞き惚れていました。

他にも、各ボランティア団体の販売コーナーや抽選くじによるお楽しみ会など、会場はにぎわいをみせていました。



▲ボランティア標語コンクール表彰



▲サックス演奏中の宇木 稔氏



▲シンボルマーク表彰

真心を届けます!

昭和56年より大島地区に在住の77歳以上の一人暮らしの方々の安否確認等を目的にスタートした「一人暮らし弁当サービス」は、今年で34年目を迎えました。

お弁当を届けるには、多くの方が関わっています。献立を若芽会の皆様が行い、調理を各地区のボランティアグループの皆さんが担います。弁当の包装紙には、保育園児の「かわいい絵」が描かれています。出来上がったお弁当は、老人クラブの方がお届けします。

このように、世代を超え多くの皆様がこのサービスを支えています。これからも大島地区の皆様のお役にたてるよう頑張っています。みなさんも参加してみませんか、真心のお手伝い。(TEL55-2100)



安全に登下校ができますように! ～新一年生に『黄色い帽子』寄贈～

平戸市内の小学校で入学式が行われ、新一年生に本会より『黄色い帽子』を寄贈いたしました。

この『黄色い帽子』は住民の皆様よりお寄せいただきました『赤い羽根共同募金』の配分金の一部を活用し、寄贈しています。

児童のみなさんの健やかな成長と、通学中に事故なく安全に登下校ができますように、心よりお祈りいたしております。



ふれあい食事会 のんびり田平周遊ドライブ

毎月第3木曜日に開催している、『ふれあい食事会』で4月16日(木)ドライブを実施しました。あいにくの天候により予定を変更し『田平周遊ドライブ』に出掛けました。みなさん知っているようで知らない田平周遊に「こがんだのあったとね〜」「花見もよかけど今日は世間眺めが出来て良かったばい」とみなさんととても喜ばれておりました。

お昼はボランティアさんが用意して下さった花見弁当に舌鼓を打ち「みんなで食べるお弁当はおいしかね。今日は楽しかった〜」と楽しい一時を過ごしました。



目指せ!未来の介護職☆≡

長崎県立北松農業高等学校の生活学科では、福祉・医療分野で活躍する人材の育成に、2年生で介護の資格を取得し、3年生で毎週水曜日に保育園・高齢者福祉施設において実習に取り組んでいます。社会福祉協議会では通所介護・訪問介護の実習を行っており、今年度も4月15日から早速実習が始まりました。

現場で指導を受けながらの実習は、生徒たちが進路を考えるうえで貴重な体験となるでしょう。2つの体験が活かされ、立派な社会人として活躍することを期待しています。



スクエアステップ講習会開催

4月10日に本会において、『スクエアステップ講習会』を開催いたしました。

スクエアステップとは、化学的エビデンス(根拠)に基づくエクササイズです。スクエアステップの適応範囲は広く、高齢者の要介護化予防(転倒予防・認知機能向上)をはじめ、成人の生活習慣病予防、子どもの身体機能の発達、あらゆる年齢層の体力づくり・仲間づくり、また、アスリートの競技力向上とコンディショニングにまで適応が可能です。

今回は、長崎大学医学部健康学科 准教授 中垣内 真樹氏を講師に招き、講習をしていただきました。今後は、介護予防教室やふれあい・いきいきサロン等での実践の予定です。





「へき地保育所」卒園式

各へき地保育所にて平成26年度保育証書授与式が度島、野子、志々伎及び根獅子の各園で行われました。卒園児は元気に入場し、将来の夢などについて語りました。

保育所でのたくさんの思い出を胸に、小学校でも元気いっぱい勉強に運動に頑張ってください。



▲志々伎町へき地保育所



▲度島町へき地保育所



▲野子町へき地保育所



▲根獅子町へき地保育所



「へき地保育所」入所式

平成27年度へき地保育所入所式が、野子町並びに度島町の各へき地保育所で行われました。お父さんやお母さんに手をひかれ、少し不安そうでしたが、保育士や在園児の優しい歓迎の言葉に“ホッ”とした様子でした。

新入園児の中には名前を呼ばれ恥ずかしそうに返事をしたり元気いっぱい返事をするなどこれからの成長が楽しみです。今後も、園児たちの成長を地域の方とともに温かく見守り、支援してまいります。



▲度島町へき地保育所 ▶



中国雑技団におおはしゃぎ!!

ホテル蘭風様からご招待がありました「平戸のこどもたちに雑技団を見てもらおう!」プロジェクトに、野子町へき地保育所、根獅子町へき地保育所、早福町へき地保育所、度島町へき地保育所、及び志々伎町へき地保育所の園児36名が雑技団を見学しました。普段は、見ることがない「雑技団」の華麗な演技に、園児は大きな歓声をあげていました。ホテル蘭風の皆様、ありがとうございました。



情報掲示板

大島村ふれあい健康ふくしま祭り開催

今年も下記の日程で、大島村ふれあい健康ふくしま祭りを開催いたします。みなさまのご参加をお待ちしています。

日 時 6月7日(日) 9:30~14:30

会 場 午前：平戸市立大島中学校
午後：大島高齢者生活福祉センター

内 容 ふれあい運動会、講話、バザー、写真・作品展示 他

主 催 大島村ふれあい健康ふくしま祭り実行委員会

問い合わせ 平戸市社会福祉協議会大島支所 TEL:55-2100



参加費 無料

「クリーンウォーク&史跡めぐり」

参加費
無料

平戸の史跡を巡りながら楽しく清掃活動をしてみませんか？ボランティアさんによる観光ガイドを受けながら、ゴミを拾って町もキレイに。活動した後は心もスッキリしますよ～！ぜひお気軽にご参加ください。

日 時 5月30日(土) 10:00~12:00

集合場所 平戸港交流広場(平戸市崎方町776-6)

参加対象者 どなたでも気軽に参加できます！

ただし、小学生(低学年・中学年)は、保護者同伴でご参加ください。

申込方法 電話(22-2180)で申込を行ってください。※申込期限5月26日(火)まで

問い合わせ 平戸市ボランティア協議会事務局(平戸市社会福祉協議会内)
(平戸市岩の上町1466番地 TEL:22-2180 FAX:22-3175)



平成27年度 第1回 介護支援ボランティア講習会

介護支援ボランティアポイント制度では、指定の講習を受講することにより介護支援ボランティアとして活動ができます。今年度第1回目の講習会を下記の日程で開催します。ぜひ、ご参加ください。

日 時 6月26日(金) 13:30~15:45

会 場 平戸市たびら活性化施設(平戸市役所田平支所庁舎併設)

参加対象者 ボランティア活動を行っている方、65歳以上でボランティア活動を行いたい方、その他興味のある方。

講 師 大塚 真二 氏(フリーランstrainer)

申込期限 6月19日(金)までに、お申込みください。

お申込み・お問合せ 社会福祉法人平戸市社会福祉協議会田平支所(担当:松尾・福浦)
平戸市田平町里免90番地 Tel:57-2223 Fax:57-0137

参加費 無料



ふくしの輪

～地域ボランティア紹介～

平戸市ボランティア協議会

■ 団体数:14団体

昭和58年に『平戸市ボランティア連絡協議会』を発足。以来、配食サービスや施設訪問、手話・音訳・点字等様々なボランティア活動が行われています。

また、福祉分野を中心とするボランティア活動も近年、環境や国際交流等様々な領域の活動が近年増加する傾向にあります。

現在は14団体が加入しており、“ゴミ0”にちなんで清掃活動を行いながら観光地を巡る『クリーンウォーク&史跡めぐり』の開催や、『平戸きらっとまつり』の開催などを行っています。

ボランティアに興味がある方、他のボランティア活動をやってみたい方など一緒にボランティアしませんか？

【お問い合わせ】平戸市社会福祉協議会
☎22-2180



▲昨年9月の国体開催前に開催地周辺の清掃活動を行いました。

善意のともしび

多くの方より貴重なご寄付をいただきました。ご厚意に対し、厚くお礼申し上げます。皆さまから寄せられました寄付金は、地域福祉事業などに役立たせていただきます。また本会へいただきました寄附金は、税額控除の対象となります。ご寄付をいただきました方のご芳名は次のとおりです。
(3月～4月末日受付分)

香典返し

【平戸地区】

- 牟田 正一様
- 度島町(亡父) 武様
- 須崎 靖恵様
- 岩の上町(亡兄) 中島勝美様
- 峯野 富枝様
- 戸石川町(亡母) 前田シズ子様
- 藤澤 義忠様
- 木場町(亡母) ユキ様
- 山中 昭三郎様
- 宮の町(亡妻) 睦美様
- 阿立 洋子様
- 下中野町(亡義姉) ハツ子様
- 種岡 新様
- 紐差町(亡母) 梅子様
- 岩本 幸次郎様
- 新町(亡母) フミ様
- 坂本 九十九様
- 岩の上町(亡妻) 恂子様
- 吉木 秀子様
- 度島町(亡義母) 敏子様

【生月地区】

- 近藤 千英様
- 館浦屋敷(亡夫) 茂様
- 石田 ソギ様
- 元触(亡夫) 栄一様
- 山口 安司様
- 浦北(亡母) イネ様
- 大浦 チヨ子様
- 館浦浜(亡夫) 昭元様

【田平地区】

- 上原 シヅエ様
- 浦北(亡夫) 全弘様
- 松本 譲治様
- 御崎(亡父) 義人様
- 豊増 早苗様
- 老部(亡夫) 定満様
- 久岡 一夫様
- 浦北(亡妻) フク様
- 大山 八千代様
- 米の内(亡夫) 朗様
- 今村 昭博様
- 以善(亡父) 悦治様
- 川原 スマ子様
- 小手田(亡夫) 健三様
- 野口 周一郎様
- 外目(亡母) シズ子様
- 宮木 昭徳様
- 平戸口(亡母) ユキエ様
- 原 良介様
- 上里(亡母) 美子様
- 萩尾 英明様
- 小崎(亡母) キミエ様
- 関本 篤様
- 米の内(亡母) 輝子様
- 松田 功様
- 南萩田(亡妻) 幸枝様
- 濱野 寿文様
- 福崎(亡父) 國夫様

【大島地区】

- 神浦 巴様
- 神浦(亡夫) 至暁様
- 尾崎 靖彦様
- 神浦(亡父) 定之様
- 出口 悦子様
- 神浦(亡子) 重男様

【一般寄付】

- 度島町へき地保育所 父母の会様
- 金剛院彼岸お巡り 神浦様
- 佐世保魚市場株式会社 佐世保市相浦町 (宮ノ浦恵比須まつり) 参加のお礼として



ひらど社協だより Vol.58

平成27年 5月15日発行

社会福祉法人

平戸市社会福祉協議会

(本所) 〒859-5121 長崎県平戸市岩の上町1466番地

平戸市社会福祉センター内 ☎22-2180/FAX22-3175

【E-mail】hirado@sha-kyo.net

【ホームページ】http://www.sha-kyo.net/

【公式Facebook】https://www.facebook.com/hiradoshakyo



フェイスブックQRコード

－ 編集後記 －

長かった冬が終わり、桜の咲く春が巡ってくるどだか心がワクワクしますが、その桜が散ってしまわるとやってくるのが憂鬱な「梅雨」です。海水浴やキャンプ、花火大会など何かと楽しみの多い夏を目前にして、梅雨になると気分も減入りがちですが、「止まない雨はない」とはよく言ったもので、梅雨も必ず明ける日がやってきますので、その日を励みに何とか乗り越えたいものです。梅雨の時期も考えようによっては、暑さや寝苦しさを連日体力の消耗が激しい夏の前に、家でゆっくりと過ごして体を休めるいい機会とも言えます。あまり暗くならず、前向きに捉えて梅雨を乗り越えたいですね。

→次号は平成27年7月15日発行予定です。